

全数報告の感染症

- 1 類感染症: 報告なし
- 2 類感染症: 結核 223 例
- 3 類感染症: コレラ 1 例 (感染地域: 米国)、腸管出血性大腸菌感染症 166 例 (うち有症者 114 例、うち HUS 2 例、死亡なし) [感染地域: 国内 165 例、国内・国外不明 1 例 国内の多い感染地域: 宮城県 (56 例)*、岩手県 (21 例)、兵庫県 (14 例) *うち 55 例は仕出し弁当による食中毒に関連した集団発生 年齢群: 10 歳未満 (61 例)、10 代 (10 例)、20 代 (20 例)、30 代 (20 例)、40 代 (11 例)、50 代 (28 例)、60 代 (11 例)、70 歳以上 (5 例) 血清型・毒素型: O157 VT1・VT2 (87 例)、O157 VT2 (29 例)、O26 VT1 (24 例)、O111 VT1 (4 例)、O157 VT1 (3 例)、O91 VT1・VT2 (2 例)、O63 VT2 (1 例)、O121 VT2 (1 例)、O145 VT1 (1 例)、その他/不明 (14 例)、腸チフス 1 例 (感染地域: インド/ベトナム/カンボジア/中国)
- 4 類感染症: E 型肝炎 2 例 (感染地域: 長野県 1 例__感染源: 不明、愛知県 1 例__感染源: 焼肉)、オウム病 1 例 (感染地域: 福岡県、感染源: ハト/ニワトリ)、つつが虫病 1 例 (感染地域: 佐賀県)、デング熱 3 例 (感染地域: インド 2 例、ジャマイカ 1 例)、日本紅斑熱 6 例 (感染地域: 三重県 2 例、熊本県 2 例、青森県 1 例、徳島県 1 例)、マラリア 3 例 三日熱 2 例 感染地域: インド 1 例、ブラジル 1 例 熱帯熱 1 例 感染地域: マリ/ブルキナファソ、レジオネラ症 9 例 (すべて肺炎型) [年齢群: 40 代 1 例、50 代 3 例、60 代 4 例、90 代 1 例 感染地域: 群馬県 2 例 (うち 1 例温泉)、長野県 2 例、神奈川県 1 例、新潟県 1 例、三重県 1 例、兵庫県 1 例、和歌山県 1 例 (温泉)]
- 5 類感染症: アメーバ赤痢 4 例 (腸管アメーバ症 1 例、腸管外アメーバ症 3 例) [感染地域: 国内 3 例、米国 1 例 感染経路: 経口 1 例、性的接触 (同性間) 1 例、不明 2 例]、ウイルス性肝炎 4 例 (すべて B 型、感染経路: 性的接触 3 例 異性間 2 例、同性間 1 例)、不明 1 例)、クロイツフェルト・ヤコブ病 1 例 (孤発性プリオン病古典型)、後天性免疫不全症候群 16 例 (無症候 11 例、AIDS 4 例、その他 1 例) [感染地域: 国内 10 例、タイ 2 例、国外 (国不明) 1 例、国内・国外不明 3 例 感染経路: 性的接触 15 例 異性間 1 例、同性間 11 例、異性間および同性間 3 例)、不明 1 例]、梅毒 12 例 (早期顕症 I 期 6 例、早期顕症 II 期 3 例、無症候 3 例)、破傷風 1 例 (4 歳)、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 例 (遺伝子型: VanC__菌検出検体: 胆汁)

定点把握の対象となる 5 類感染症 (週報対象のもの)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は横ばいであるが、過去 5 年間の同時期 (前週、当該週、後週) と比較してかなり多い。都道府県別では沖縄県 (6.02)、愛知県 (0.18)、静岡県 (0.13)、東京都 (0.08)、神奈川県 (0.08) が多い。小児科定点報告疾患: RS ウイルス感染症は 414 例と減少した。年齢別では、1 歳以下の報告数が全体の約 72% を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第 37 週以降減少が続いている。都道府県別では高知県 (0.70)、熊本県 (0.38)、広島県 (0.28) が多い。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では茨城県 (1.80)、山形県 (1.63)、北海道 (1.50)、富山県 (1.48) が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では宮城県 (11.0)、島根県 (6.7)、大分県 (6.5) が多い。水痘の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では新潟県 (1.21)、宮城県 (0.86)、長野県 (0.76) が多い。手足口病の定点当たり報告数は第 37 週以降減少が続いている。都道府県別では沖縄県 (2.9)、宮城県 (2.4)、大分県 (2.1) が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では高知県 (0.37)、岩手県 (0.33)、三重県 (0.33)、福井県 (0.32) が多い。百日咳の定点当たり報告数は減少したが、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では栃木県 (0.09)、奈良県 (0.09)、東京都 (0.08)、千葉県 (0.07) が多い。風しんの報告数は 6 例と横ばいであった。都道府県別では北海道、青森県、岐阜県、滋賀県、京都府、広島県から各 1 例であった。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第 31 週以降減少が続いているが、過去 5 年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では岩手県 (1.10)、北海道 (1.01)、鳥取県 (1.00)、山形県 (0.97) が多い。麻しんの報告数は 2 週連続で減少し、5 府県から 20 例の報告があった。都道府県別では福岡県 11 例、神奈川県、大阪府から各 3 例、兵庫県 2 例、新潟県 1 例の順であった。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では秋田県 (1.51)、高知県 (1.17)、新潟県 (0.84) が多い。基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では福島県 (2.4)、群馬県 (1.1)、宮城県 (1.0)、沖縄県 (1.0) が多い。成人麻しんの報告数は減少し、2 県から 2 例の報告があった。都道府県別では、宮城県、秋田県から各 1 例であった。

1)	小児科定点											眼科定点		基幹定点							
	RS ウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌咽頭炎	A 群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	成人麻しん
(定点当たり)																					
愛媛県	.1	.1	1.2	2.5	.5	.8	.1	.9			.5		.4		2.4			.2			
近畿																					
香川県	1.4		.3	2.9	.3	.1	.1	.8			.6		.1		.3						
徳島県	.8	.0	.3	2.6	.3	.0	.0	.5			.2		.1								
高知県	.2	.7	.3	2.5	.3	.8	.4	.3			.5		1.2		2.0						
全国	.1	.1	.9	3.1	.4	.6	.1	.6	.0	.0	.4	.0	.3	.0	.5	.0	.1	.3	.0	.0	.0
北海道	.2	.2	1.5	1.4	.6	.7	.2	.6		.0	1.0		.1		.5			.2			
東北	.0	.1	.1	.9	2.2	.6	1.4	.2	.6	.0	.0	.7	.4		.5			.8	.0	.0	.0
関東	.0	.1	.1	1.0	3.0	.4	.5	.1	.6	.0	.3	.0	.2	.0	.6	.0	.0	.3	.1		
甲信越北陸	.0	.0	.2	1.0	2.4	.7	.3	.1	.5	.0	.3	.0	.4		.3		.1	.2	.1		
東海	.1	.1	.1	.7	2.7	.3	.4	.1	.7	.0	.4		.3		.2	.1	.1	.6	.1		
近畿	.1	.1	.8	3.0	.3	.2	.1	.5	.0	.0	.2	.0	.2	.0	.3	.0	.1	.1	.1		
中国四国	.0	.3	.2	.7	3.8	.4	.4	.1	.6	.0	.4		.3		.8		.1	.1	.1		
九州沖縄	.5	.3	.2	.7	4.5	.5	1.1	.0	.9	.0	.3	.0	.4	.0	.7		.1	.2	.2		

1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻しんを除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病は除く。(10月17日集計) 愛媛県基幹感染症情報センター

全国 全数把握感染症 第41週 (2007.10.8 ~ 10.14)

疾病名	二類 (2) 結核	三類感染症					四類感染症														五類感染症																		
		(1) コレラ	(2) 細菌性赤痢	(3) 腸管出血性大腸菌感染症	(4) 腸チフス	(5) パラチフス	(1) E型肝炎	(3) A型肝炎	(4) エキノコックス症	(6) オウム病	(10) Q熱	(12) コクシジオイデス症	(18) つつが虫病	(19) デング熱	(23) 日本紅斑熱	(24) 日本脳炎	(28) ブルセラ症	(30) 発疹チフス	(32) ボツリヌス症	(33) マラリア	(35) ライム病	(39) レジオネラ症	(40) レプトスピラ症	(1) アメーバ赤痢	(2) ウイルス性肝炎 (E型及びA型肝炎を除く)	(3) 急性脳炎	(4) クリプトスポリジウム症	(5) 病 クロイツフェルト・ヤコブ	(6) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症	(7) 後天性免疫不全症候群	(8) ジアルジア症	(9) 髄膜炎菌性髄膜炎	(10) 先天性風しん症候群	(11) 梅毒	(12) 破傷風	(13) ドウ球菌感染症	(14) パンコマイシン耐性腸球菌		
全 国	223	1		166	1		2		1			1	3	6					3		9			4	4			1		16					12	1		1	
第41週報告数	四 国	愛 媛 県	4																						4	4													
		香 川 県	2		1																																		
		徳 島 県	4												1																								
		高 知 県	2																																		1		
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道	7		2																										1								
		東 北 道	19		84										1																					1			
		関 東 圏	46	1	16									3						2		2			3				13					3	1				
		甲信越北陸	11		7			1														3				1												1	
		東 海 道	30		12	1		1							2								1		1	1			1							2			
		近 畿 圏	41		26															1			2								1					1			
中 国 四 国	23		7										1								1													2					
九 州 沖 縄	46		12						1			1		2											1					1				3					
週 推 移	全 国	41週	223	1		166	1		2		1		1	3	6				3		9			4	4			1		16					12	1		1	
		40週	227		7	212	3		2					1							1	11		4	2			2	1	12	1			10	2		3		
		39週	185		8	105		2	1				1	2	3	2						1	18	1	8	1	1	2	2	16	1			8	2		2		
		38週	173		3	94	4		2					9	3				1	1	9			5	1			1	22	1			9	1		1			
2007年累積数	四 国	全 国	11122	11	392	3857	38	15	47	122	13	26	4	3	99	75	65	3	1	2	41	10	499	20	608	180	181	6	113	79	1140	39	13		553	75		59	
		愛 媛 県	190		3	23				1		1											6		3	1	1		6	1	8				6				
		香 川 県	75		1	11				1													3		1	2	1		1	1	3				4				
		徳 島 県	111		1	17																	2			3			1	3	1			1		1			
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道	375		6	76	1		9	6	10	1								1	3	24		18	5	6		2	6	16				11	4		1		
		東 北 道	689	2	19	450	3	3	3	12		5			40	1	1				2		34		35	9	10		3	6	32		2		24	6		4	
		関 東 圏	2748	6	191	1015	14	7	9	39	3	8	1	3	9	41	1					26	5	147	5	263	48	57	2	34	26	575	23	4		214	24		30
		甲信越北陸	698		14	325	2	1	3	6						9	1					1		54	1	25	11	12	2	8	5	25	2		18	5		5	
		東 海 道	1683		58	270	5		15	14		3				4	6	12				1	1	76	1	65	12	8		12	7	165	3	1		89	5		10
		近 畿 圏	1988	3	66	774	12	3	3	21		5				10	17	12		1		10		71		135	46	46		23	7	202	9	2		48	7		6
中 国 四 国	1251		28	285			3	10		2	3			6	2	17	1			2		50		23	36	13	1	19	13	48	2	1		38	2		2		
九 州 沖 縄	1690		10	662	1	1	2	14		2				21	7	22	2					43	13	44	13	29	1	12	9	77		3		111	22		1		

・医療機関での診断日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。
 ・2007年4月からの法改正に伴い、疾病の追加および並び順を一部変更しました。